九州経済

ファクス 092(711)6249 メールkeizai@nishinippon.co.jp

西日本新聞経済電子版（ｑＢｉｚ）は29日午後７時半、九州経済の最新事情を体験的に学べる「ｑＢｉｚスクール」の第２回を、福岡市博多区上川端町９－35の「冷泉荘」で開く。

テーマは「『新・モノづくり』の時代とは～３Ｄ（立体）プリンターの実力」。３Ｄプリンターは、データを入力すれば、部品の試作品などの立体を容易かつ精巧に自動成形できる。人気ビジネス書「ＭＡＫＥＲＳ（メイカーズ）」も「21世紀の製造革命の到来」と予言している。

ｑＢｉｚスクールでは、国産唯一の小型３Ｄプリンターを開発・販売するホットプロシード（福岡市）の湯前裕介社長や、３Ｄプリンターなどが誰でも使える作業空間「博多図工室」（同）を開設した鈴谷瑞樹代表を講師に招き、製造業の新たな可能性を考える。３Ｄプリンターの実演も行う。定員40人。

ｑＢｉｚ読者無料、一般1000円（飲み物付き）。

申し込みはhttp://qbiz.jp/school_002/

qBiz（キュービズ） 西日本新聞経済電子版から

第２回スクールは「新・製造業」

qBiz 検索

ひと

独自技術に関心高まる

中央自動車道笹子トンネルでの天井板崩落事故を受け、コンクリート落下を防止するエムビーエス社独自のコーティング技術へ関心が高まっている。「行政やゼネコン関係者からの問い合わせが増えている」と話す。

ガラス繊維の補強シートをウレタン塗料でコンクリートに貼り付ける工法。透明塗料なので補強箇所を目視確認でき、異変に気づきやすいのが特長だ。10年以上前に開発した工法だが、問い合わせの増加を「補修箇所を覆い隠したがる傾向にあったが、事故をきっかけにそうも言っていられなくなった」とみる。

5月をめどに7カ所目の営業拠点となる千葉支店を開設予定。「10年以内に47都道府県すべてに拠点を開設し、需要を取り込んでいきたい」

エムビーエス（山口県宇部市） 山本 貴士社長

主要通貨 15日

（対顧客電信売り相場 単位・円）

米ドル	90.59
カナダドル	92.68
ＥＵユーロ	121.38
英ポンド	148.11
スイスフラン	98.13
豪ドル	90.62
ＮＺドル	77.45
シンガポールドル	74.92
タイバーツ	3.05
香港ドル	11.99
韓国100ウォン	8.71
インドネシア100ルピア	1.06
フィリピンペソ	2.37
インドルピー	1.81
メキシコペソ	8.11
南アフリカランド	11.80
台湾元	3.10
中国元	14.79
ロシアルーブル	3.22
オーストラリアドル	29.78
ブラジルレアル	45.97

三菱東京UFJ銀行の電信売り相場、ルピアは参考相場。中国元はみずほコーポレート銀行の電信売り相場、台湾元、リンギットは参考相場。レアルはブラジル銀行

気流

福岡、北九州地区で働く女性をキーな読者とする無料情報誌「ａｖａｎｔｉ（アヴァンティ）」が今年、創刊20周年を迎えた。その1月号の特集「企業を、社会を牽引する女性リーダー」に、興味深い調査結果が出ている▼福岡で働く女性98人に「女性管理職に、あなたはなってみたい？」と聞くと、「なりたい」は3割。年代別には20代で1割に満たない。その理由は「今の会社で女性の昇進はありえない」「共働きの状態では無理」などだ▼だが、40代になると、約5割が「なりたい」と回答。女性管理職33人への問いでは、約8割が「昇進・昇格してよかった」と答えた。その理由は「やりがい」や「自分の成長」などが多い。調査結果をどう受け止めるかは、読者の判断だが、女性が管理職をできる職場環境だけは、早く整えたい。

地域発電でまちづくり

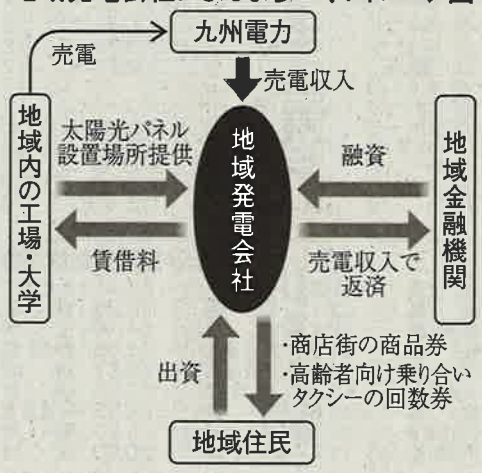
北九州のNPO

市民出資会社の設立計画

融資や場所提供 企業に協力要請 売電利益 地元に還元

再生可能エネルギーによる電力の固定価格買い取り制度をまちづくりに生かそうと、北九州市八幡東区のNPO法人が中心となり、市民出資型の地域発電会社の設立準備を始めた。出資者への配当には、地域限定の商品券や高齢者向け乗り合いタクシーの回数券を活用し、商店街活性化、福祉充実につなげる。太陽光発電パネル設置場所の提供で地場企業にも協力を募る。3月までに採算性を調査し、新年度に事業計画をまとめる方針。

地域発電会社によるまちづくりイメージ図



昨年7月の固定価格買い取り制度開始後、企業による発電所建設が進んだ一方、自宅に太陽光発電設備などを設置した場合を除き、消費者が制度の利点を実感しづらいのが現状。このため、八幡東区のNPO法人「夢追いバンク」が「地元に利益を還元しよう」と地域発電会社を発案した。

設立を目指しているのは、夢追いバンクと早稲田大学の研究関連企業「早稲田総研イニシアティブ」（東京）で、八幡東区にある九州国際大学の研究者も協力する。

計画では、国の補助金450万円を活用し、八幡東区一帯の大学、企業の敷地で太陽光パネルが設置可能な場所や日照時間を今月から調査。採算性が確認されれば、地元金融機関に融資を要請するとともに、市民から一口1万円程度の出資者を募る。集めた資金で1カ所当たりの出力千～2千㌔程度の大規模太陽光発電施設（メガソーラー）を建設する。

太陽光パネル設置場所を提供してくれた企業への賃借料や金融機関への返済には、九州電力への売電収入を充てる。残った収入で地元商店街で使える商品券や、高齢者向け乗り合いタクシーの回数券を発行し、出資者に配当として還元する。

まちづくりや高齢者支援を手掛ける夢追いバンクの岩科健一理事長は「かつて製鉄業で栄えた八幡東区も高齢化が進んでいる。再生可能エネルギーの買い取り制度を企業活動だけでなく、継続可能なまちづくりに生かしたい」としている。

北九州市では、同市が市民向け公募債を発行したり、寄付金を募ったりしてメガソーラーを建設し、収入の一部を緑化整備などに充てる計画もある。（田中良治）

飯塚にMEGAドン・キ

九州1号店、3月中旬開店

総合ディスカウントストア運営のドン・キホーテ（東京）は15日、九州では初業態となる「MEGAドン・キホーテ」の飯塚店（仮称）を3月中旬に福岡県飯塚市椿に出店させると発表した。九州のドン・キホーテとしては16店舗目、同県内では8店舗目となる。

MEGA店はファミリー層をメーンターゲットとし、通常のドン・キホーテの店舗（千～2千平方㍍）に比べて売り場面積が広く、食料品の取り扱いが多いのが特徴。これまで関東を中心に出店してきた。飯塚店は平屋で売り場面積約2860平方㍍。家電製品や海外ブランド品、化粧品も販売するほか、生鮮食品の取り扱いも検討する。

同社は「これまで店舗がなかった筑豊地区に大型店を構えることで、筑紫野市や北九州市からも集客を図れると判断した」としている。

観光関係者150人「もてなす心」学ぶ

福岡市で研修会

観光客をもてなす心（ホスピタリティ）について学ぶ研修会が15日、福岡市博多区のホテルで開催され、ホテルや観光協会関係者など約150人が参加した。福岡県観光連盟と日本観光振興協会九州支部の共催。

講師は、九州観光推進機構で観光アドバイザーを務める大江英夫氏と、「お笑い」の要素を取り入れた独自のコミュニケーション論を唱える元芸人の夏川立也氏。

言葉だけでなく、良い「空気感」をつくることが大切と訴えた夏川氏＝15日午後、福岡市博多区のホテル

大江氏は、九州の豊かな自然や食文化を伝える観光ボランティアを充実させる大切さを強調。「相手に喜んでもらうことを日頃から考えておかないと、いざという時に発揮できない」と指摘。夏川氏は、相手と良いコミュニケーションを取るためには、言葉に頼らず、笑顔で話しかけるなど工夫して良い雰囲気（空気感）をつくる方が大切と訴えた。

第一交通が業務提携

駐車場管理2社と

第一交通産業（北九州市）は15日、駐車場管理会社「アプロステーション」（同）、同「サンネッツ」（東京）の2社と業務提携すると発表した。第一交通産業が所有する駐車場の保守・管理業務などを委託する。提携開始は2月1日。

第一交通産業グループは15都府県に1660台分の時間貸し駐車場を所有。これまで運営は大手警備会社などに任せてきたが、九州地区はアプロ社に、九州以外をサンネッツに一元的に委ねることで経費削減を図る。